



令和5年度 羽田中学校だより

天 空 の 橋

令和5年10月14日 10月号

目指す生徒像・・・

Heart
Never Give Up
Do Our Best
大田区立羽田中学校

本気で自由をめざしませんか

9月1日、2学期の始業式の日、2年生の社会科見学実行委員の生徒が校長室を訪ねてきました。お願いしたいことがあるということです。そのお願いは、10月にある社会科見学の際、今までの2年生の社会科見学では行われていなかった「行動中に、「お土産を買う」ことを許可してほしい」というものでした。また、「お土産を買う」ことによって起きるメリット・デメリットも考え、それに対する対応としてのルール設定まで考えて、紙に書いてきていました。

私は、この申し出をととても嬉しく思いました。社会に出たときには、学生時代とは違って基本的に自分の行動を選べる自由な状態になります。そして、自由な中でも何が望ましい行動なのかを判断し、自分を律することができる必要があるようになってくるわけです。ですから、学生時代に何でも先生に決められて行動するのではなく、自由な中で自分を律して行動できることをめざすことは、とても大切なことです。そういった、自由な社会の中で自律して行動できるようにしていくことを目指しての「お願い・申し出」がとても嬉しかったのです。とはいえ、自由は申し出れば、どのような状態でも与えられるわけではありません。

9月に5組の校外学習で山梨に行きました。帰りのバスの中で、「となりのトトロ」を鑑賞しました。「トトロ」の中で、家に帰ってくるはずだった入院しているお母さんが風邪をひいて、帰れなくなる場面がでてきます。妹のメイちゃんは、それに耐えきれず、お母さんの病院まで行こうと飛び出してしまいます。でも、途中で道に迷って迷子になってしまいます。そして、行方不明になったメイちゃんを村中の大人たちが探して大騒ぎになります。この場合、（メイちゃんの気持ちはわかりますが）残念ながらメイちゃんには、一人で病院までいく能力はありません。ですから、自由に一人で病院まで行かせる自由は与えられません。大人が保護してあげなければいけないわけです。

中学生が自由を獲得する場合も同様です。あることを自由にすることによる課題を乗り越える能力を示せば自由が獲得できます。でも、ただ「自由にしたい」と希望を言うだけでは自由にはなりません。ましてや、現在のルールを無視した状況を考えず自分勝手に行動すると、返って自由にはなりません。今あるルールを守れないことは、必要なルールをつくっても守れないと判断される。つまり、自由に行動できる能力があるとはみなされないからです。その意味で、自由は与えられるものではなく、勝ち取るものなのです。本気で自由の獲得を目指せば、その自由を獲得するために

必要なことを考え自分を律していくこととなります。逆に、自分勝手な行動をする人は、本気で自由になることを考えてはいないわけです。今回、2年生には、「ルールを守れる能力を示せる」ことを条件に（喜んで）OKを出しました。

さて、年度末にお願いしている保護者からの評価アンケートで、何年ものあいだ「会議日（水曜日）の再登校をなくしてほしい」というご意見をいただいていた。学校側としては、安全管理が校内でできない状態では実現が難しく、懸案事項となっていました。今年度この件をPTAや地域の方にご相談したところ、会議日の部活動開始まで生徒を見守ってくださるボランティア活動をしていただけることになりました。とてもありがたいと思っています。生徒からすれば、会議日に意味もなく学校と家を往復しなくてもよいという自由が獲得できることとなります。しかし、自由は、それができる能力を示さなければならないはず。この場合、定められたルール（→勉強をして待っている）や、見守ってくださる地域・保護者の方の指示をきく、などができなければなりません。少なくとも、そのルールを守る覚悟をし、守れなかったときには元に戻ることも覚悟しておかなければいけません。そうでなければ、せっかくボランティアで見守りをしてくださる方にご迷惑をかけてしまいます。そこで、該当の部活動の生徒には、「その趣旨を説明し、それができるのだったら再登校をしなくてもOKにする」という提案をしました。該当の部活動の生徒からは、その提案にのるといふ返事が返ってきているところです。結果として、10月の半ばから水曜日の部活動のための再登校はなくなります。今回は、水曜日の部活動ですが、それがうまくいく、つまり生徒が能力を示せば、さらにそれを広げることが出来ます（そうなることを期待しています）。学校は、生徒に「社会を形成できる能力」を育成することです。自分の行動に責任をもつ能力を示せば、より望ましい、望んでいる社会を形成することが出来ます。

こういった活動が広がり、より生徒が自由で、でも必要なことは自分たちで律する、安心・安全が保たれ学習権も含めた権利が保障される学校づくりをめざしていきます。生徒の諸君には、本気でこの意味での自由をめざしてほしいと思っています。



保護者・地域の方に、会議日の再登校をしないですむための生徒見守りのボランティアを募集しています。ぜひ、よろしくお願ひします。

